

ビジネスリーダーの情報武装マガジン

Oct.2008

10 | 1

10月1日号

# 先見経済

Management & Economic Information SENKEN KEIZAI Since1938

特集

## 経営者よ侍たれ!

考察・トツプのとるべき〈責任〉の在り方

好評連載

森田実の温故知新 森田実

鷓の目、鷹の目、先見の眼 大貫啓行

時論 作家 安部譲二



今回のゲストは五日市剛氏。氏の講演を収録した本「ツキを呼ぶ魔法の言葉」は4年で110万部を売り上げる大ベストセラーで、経営者はもちろん、芸能人やアスリートたちに読まれているという。そこで今号と次号の2度に分けて、人間関係を円滑にし、人を幸せにする「魔法の言葉」について伺う。

## 五日市 剛

Photo/梅田信幸

聞き手/山口哲史 株式会社プロ・アクティブ代表

「ありがとうございます」「感謝します」は「魔法の言葉」

山口 五日市さんと言えば、「ツキを呼ぶ魔法の言葉」という本です。私もこの講演筆録を3年半くらい前に、読ませていただきました。正直、感動したというか、びっくりしたというか……。「こんなことあるのかー」みたいな話で、非常にインパクトがありました。私自身、「ツキ」とか「運命」とかいったものを、読む前も漠然と感じていました。それが分かりやすく解説されていました。私の周囲の経営者の間でもかなり読まれていますが、実際、どのくらいの方が読まれているのですか。

五日市 発行されて4年経ちますが、110万部出ました。びっくりしています。講演筆録なので読みやすいことと、1冊400円という安さが冊子を広がりやすくしたのではと思います。

山口 でも無料で配ってるわけではない。  
五日市 ある出版社の社長からも「100万部突破というのはすごいことなんですよ」と言われました。「1億円の宝くじに3回連続して当たるよりも難しい」と。でも、実はこれは僕が書いた本ではないんです。ある知人の家でお話したことを勝手に録音されてダビングされまくり、やがて原稿におこされ、それがコピーとして出回ってしまったって、インターネットにも無断掲

「感謝します」「ありがとうございます」は

自分に言うことで

魔法の言葉



## 【ホスト】山口哲史 Yamaguchi Tetsushi

1961年兵庫県生まれ。関西学院大学商学部卒業後、リクルートなどを経て90年、現(株)プロ・アクティブの前身のフィールド・アクティブを設立。竹100%でできた繊維など自然でピュアなエネルギーを活用した「人を自然に輝かせる(ラディアンス)」力のある健康、美容商品の企画・販売を手掛ける。社内外ともに「ガッツさん」の愛称で親しまれている。

<http://www.pro-active.co.jp>

載されました。そのうえで、冊子までつくられて売られてしまいました。それだけに、「一応、著作権というものもありますから」と引き揚げて、今は信用できる会社に発行してもらっています。

**山口** そうだったんですか。

**五日市** この冊子については、すでに読まれた方が10冊、1000冊と買ってくれているようです。人にあげたり、社長さんならば社員に配るとかされています。芸能人やスポーツ選手の方々にも広く読まれているようで、あるスポーツ選手についてはトレーナーの方から最近連絡をもらいました。

**山口** どんな話だったのですか。

**五日市** ある国内大会で優勝して北京オリンピック出場を決めた選手の話なんです。その1週間前の日本選手権で惨敗しているんですよ。トレーナーの方のお話によると、その選手は自分が負けたことですから、弱音とか泣き言しか出てこなかったと。このままでは、1週間後に行われる大会でもダメになってしまう。そこで「彼女にこの冊子を読ませよう」と思って渡したそうです。

**山口** それで、その選手は「ツキを呼ぶ魔法の言葉」を読んだと。北京オリンピックへの出場を決めたということは、効果があ

ったわけですね。

**五日市** 魔法の言葉の一つの用法に、望みがあれば、まだ実現していません。「〜」になりました。感謝します」と、確信をもって完了形でしゃべって感謝する。「なりたい」とか「そう信じる」ではなく「そうなった」———そう言い切れば望み通りになる、と教えてくれたイスラエルのおばあさんの話を僕の冊子で紹介しています。それをその選手は実践してみました。具体的には、「〇〇の記録が出ました。感謝します」とノートに書きまくって、口からも発したのです。そうした状況をトレーナーが、僕に教えてくれたんです。結局、彼女はノートに書いたのとまったく同じ記録を出して、優勝してしまいました。

**山口** 見事に結果を出したわけですね。

### 感謝を忘れないことが 〈運〉を呼ぶ

**五日市** また、昨年知った話でゴルフの石川遼選手のことがあります。アマチュア時代、彼の勝った試合について、どうも「まぐれだ」と言う人が多くいました。でも、私からすれば、まぐれとはそう何度も続くものではないと思います。そんなことを思っていたとき、彼の記者会見をテレビで見ることがありました。「今回僕が勝てたのもゴルフを教えてくれた先生方のおかげです」「誰よりも親にありがとうが言いたいです」といった感謝の言葉が多かったです。

**山口** そう言われれば、確かに石川選手はよく感謝を口にしますね。

**五日市** ある日、彼が日本ジュニア選手権で優勝した記事が「スポーツニッポン」に載っていました。すると欄外に、彼の精神的な支柱として、私の本が書かれていたんですよ。

**山口** 「ツキを呼ぶ魔法の言葉」ですか。

**五日市** はい。彼の中学2、3年の担任の先生が、クラスでこの冊子のことをよく紹介したそうなんです。「いいか、嫌なことがあったらありがとうだぞ、いいことがあったら感謝しますだ。どんなときでも感謝の心さえ忘れなければ、必ず運はくるから」と。だから、彼はボギー叩いても「ありがとう」、池ボチャでも「ありがとう」と言い続けたようです。すると、なぜかその後のプレイがよくなったりする。そうした言葉をタイムリーに口から発することが、運を味方にするにつながったのではと思っています。

**山口** そうかもしれませぬね。

### 言葉は口に出した 瞬間から命を持つ

**五日市** 人にはそれぞれ、いろいろな精神的なストレスがあります。そんなとき、この魔法の言葉を自分に対して言うと、それ以上嫌な気分にはなりません。やはり、言葉には即効性があると思います。

**山口** 「言葉」とも言われるぐらいですか

私自身、〈ツキ〉とか〈運命〉とかいったものを漠然と感じていました